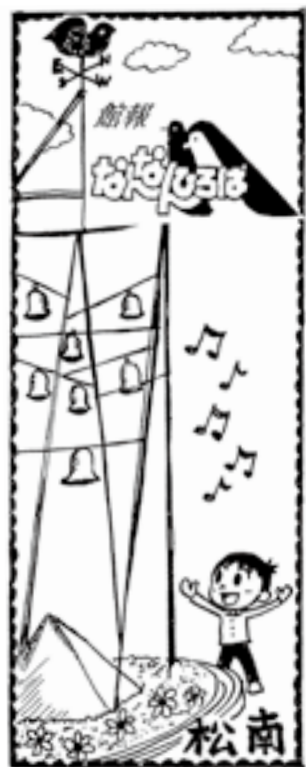




「冷しゃぶそうめんをつくってみよう！」

7月21日、松南地区子ども育成会では食育体験会を開催しました。今回は楽しく冷しゃぶそうめんを作りました。【松南地区子ども育成会会長 川島 朋子】

子ども育成会では今年のおれあい体験会として、食育体験会を企画しました。

コロナ禍が落ちつき、食べる行事も普通にできるようになりましたが、まだまだマスクをはずせない子どもたちも多くいるように思います。

松本第一高校の先生を講師にむかえて、夏でも簡単に作れる「冷しゃぶオンザさうめん」の出汁を取るところから始めました。かつお節を削る体験を何度も挑戦している姿はとても楽しそうでした。なるべく一つのお鍋ですむようにするなど大人の私達も勉強になる食育体験会となりました。

参加者は低学年が多く、全学年の子どもたちに「やってみたい！」と思っていただ



企画は、毎年替わる子ども育成会役員には大変で負担も多く、子どもの少ない地区では何度も役員をやらなければならぬのも事実です。

ふれあい体験会が子どもたちにとって有意義な活動になっているのか考えていくことも必要なのではないかと思いました。

「子どもの伝統行事への想い」

夏の子ども伝統行事「青山様」「ぼんぼん」が行われました。子どもの減少で、今では、実施できない町会も増え、男女一緒にする町会も普通になってきました。

●「青山様」

小学生以下の男の子の行事で、青山様の神輿を担ぐ子、神輿を休める台を持つ子、賽銭箱を持つ子など男の子の人数が足りず「ぼんぼん」に参加する女の子に頼らなくてはならないのが現実となつてしまった町会も出てきました。

●「ぼんぼん」

女の子の行事で、浴衣を着てほおずき提灯を下げ、お花紙で作った花を頭に飾り、ぼっくり下駄をはいて、カセットテープから流れる歌に合わせて町内を歩きます。

普段着で参加の子は、ぼんぼんの列に加わったり、法被を着て青山様に参加して「青山様・ぼんぼん」が一体となつて行列。青山様の掛け声はなく、何とも不思議な光景でした。付き添って歩いているお母さんに聞いてみました。「この行列をどう思いますか」答えは「教えてくださる人がいなくて、こんな形になってしまった」でした。

少子高齢化、近年、市外か

らの転入者も増え、親世代が、子どもの行事を知らない人も増えてきています。子どもの行事をどうしたら継承できるのでしょうか。

(塩原 保彦)

「あ～おやさまだい わっしょい
こらしよ、あ～おやさまだい
わっしょいこらしよ」

このかけ声を聞くと、家の人が外に出てきて子どもの持っている賽銭箱に小銭を入れてくれます。すると全員で一斉に大きな声で「ありがとうございます～！」とお礼を言います。

●「芳野町青山様・ぼんぼん」

コロナ禍あけ、はれて制限なしの児童行事が行われるものと町会役員も張り切っていたところ、小学校PTAも様変わりしつつあり、子ども行事も町会各支部の対応となりました。

芳野町では各家庭の自由参加で、それゆえ参加人員も少

なく寂しくなりました。

町会としては少人数でも文化をつなぐ方向で開催しました。「お賽銭はたんまり」と皮肉な結果となった、たった一日の行事でした。補足ですがラジオ体操も町会主催でつなきました。

●「南松本一丁目青山様・ぼんぼん」 (百瀬 壽)

少子化に伴い、当町会も子どもが減っていますが、参加率はとても高いとのこと。コロナ禍で一時休止していましたが、以前と変わらない状態まで復活しました。

「ぼんぼん」は女の子のまつり、「青山様」は男の子のまつりということで、30年ほど前は別々に町内を廻っていたようですが、今では、一緒に「青山様だい、わっしょいこらしよ」の掛け声で、一緒に練り歩きます。女の子も半分は浴衣、法被も着ている子もいます。

継続するには、PTAや地域の皆さんのご苦労も多々あるかと思いますが、これから、この松本の夏の伝統行事が受け継がれ、子どもたちの元気な掛け声が町内に響くことを願います。

(伊佐 治修)



7/12 信明中学校出前講座 2年

私達さんさく会はこの講座に参加して9年目となります。昔ながらの子どもの遊び道具を手作りで教えられたらと参加してきました。

竹の笛や竹の棒を擦って回す風車などこれらは竹をナイフで削り作りあげます。ほとんどの子どもはナイフを使ったことがありません。竹を削るその苦心や変化、危ない動きも身をもって体験します。おそらくこの経験は心のどこかに残っていつの日か役立つものと思います。そのために、ナイフの使い方、ケガの防止を個々に教え成果を確かめます。



7/19 信明中学校出前講座 3年

「信明中学校出前講座に携わって」

さんさく会代表 荒田直



私達の会の目的はその竹細工などの小物品が現世から消えさるのには残念に思い、どこかに残していったらと活動に参加してきました。

また、1年生から3年生を見ていると3年間の縮図のようです。人前でおどおどしていた1年生も話す言葉に力がみなぎっている3年生となっています。子どもの成長の素晴らしいと感じます。

私達にもそんな時があったのかと子どもたちの姿を見て微笑ましく感じる出前講座です。

・ 松南地区のできごと(夏)

8/1 青山様(双葉町)



▶ 青山様だい、わっしょいこらしよ

7/13 居酒屋町内公民館



▶ 久しぶりの カンパイ!

9/7 なんぶ未来まつり



▶ 大勢の人が参加して賑わいました

7/21 信濃むつみ高校夏まつり



▶ 楽しい夏まつり